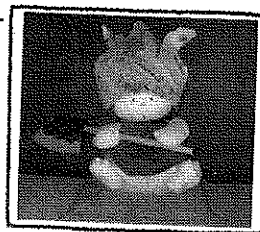


# あい通信

第32号

平成23年6月1日発行



特定非営利活動法人  
ふれあいステーション・あい  
理事長 佐々木りほ子

〒027-0074 岩手県宮古市保久田6-8  
TEL:0193-64-4117 FAX:0193-64-4122  
Email:fureai-s-ai@mx71.tiki.ne.jp  
<http://ww71.tiki.ne.jp/~fureai-s-ai/>

## 1200年に一度の大震災…3月11日「東日本大震災」

津波に押し流された船が横たわる宮古市役所前（三月十五日）



2011年3月11日14時46分18秒に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、日本の観測史上最大のマグニチュード9.0を記録。この地震により、場所によっては波高10m以上、最大遡上高38.9mにもものぼる大津波が発生し、東北地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

また地震の揺れや液状化現象、地盤沈下などによって、広大な範囲に被害が発

生し、各種ライフラインも寸断しました。

5月25日時点の集計では、震災による死者・行方不明者は23,883人（岩手県内：7,413人、宮古市内：769人）、建築物の全壊・半壊は合わせて10万棟以上（岩手県内19,773棟、宮古市内：4,675棟）、ピーク時の避難者は40万人以上、停電世帯は800万戸以上、断水世帯は180万戸以上に上っています。（岩手県災害対策本部まとめ）

今回の「あい通信」は、東北地方太平洋沖地震にともなう【東日本大震災特集号】として発行いたします。

### その時、おもえ小規模多機能支援センターでは…

ちょうど通いサービスの送迎前の時刻でした。支援センター内にいた利用者さん・職員には、怪我もありませんでした。しかし、大地震直後に通信回線が遮断され連絡が途絶え、ライフライン全て切れました。帰れなくなった職員や近くの職員が協力し合って、利用者さんを守りました。



懐中電灯の灯りで夜を過ごす利用者さんと寄り添う職員

## ～広がる《きめ細やかな支援》の輪～

震災で電話回線もインターネット回線も寸断されましたが、復旧後は『今』のふれあいステーション・あい」を、ホームページで情報発信してきました。その中から少しだけ、ご紹介いたします。

### (4月13日掲載)

宮古市立赤前小学校の子どもさんとお母さん達が、ふれあい館に来られました。宮古市赤前地区も大津波で大きな被害を受けました。支援物資から洋服やトイレトペーパーなどの日用品を選んで持ち帰られました。

「今、何か欲しい物ないですか？」と尋ねると、遠慮がちに、「中学に入る子ども達の方だけでもジャージが欲しい。流されてしまったので…」と仰いました。「探してみます」と私…後で連絡する事にしました。

埼玉県狭山市で高齢者支援の仕事をしている友人M・YさんへSOSの電話。「わかった。探してみる」とM・Yさん…午後M・Yさんより電話があり「狭山市青年会議所が新しいジャージを送ってくれそうだよ…。サイズは？14人分くらいでいいの？」とのこと。

それから、赤前小学校のお母さんやM・Yさんと電話連絡し合った結果、赤前小学校全生徒分のジャージを送って頂けることになりそうです。

M・Yさんとは、数日前、3.11以来初めて会話ができただけ…「ホットラインだからね。遠慮なく、支援してほしいと言ってよ…」との言葉に、今まで以上に元気づけられています。(佐々木)

### (5月2日掲載)

4月24日(日)埼玉県狭山市青年会議所さんから、宮古市立赤前小学校全生徒分の新しいジャージが届けられました。欲しいものが全員分、しかも全て新品という事で、子どもさんはもちろん、お父さんお母さんは嬉しかったことと思います。

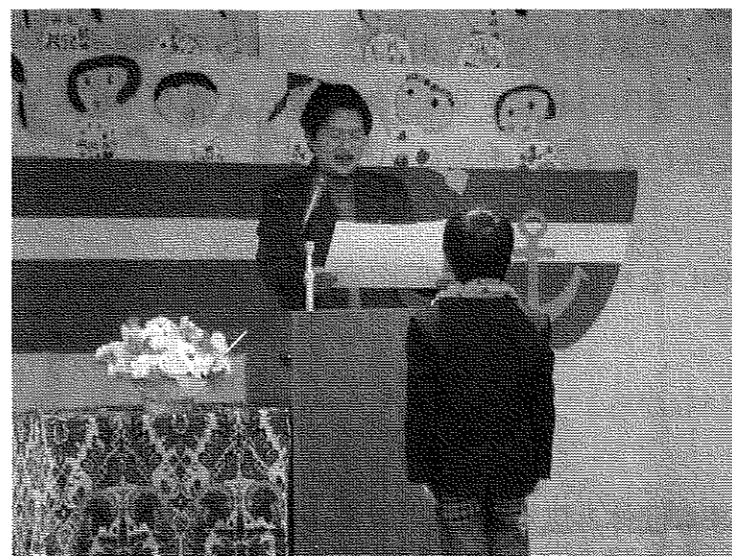
わざわざ被災地まで運転して届けていただけるなんて…これこそ「きめ細やかな支援」だと思えます。

埼玉県狭山市のM・Yさん、埼玉県狭山市青年会議所さん、本当にありがとうございました。(岩見)



ジャージを支援いただき嬉しそうな生徒たちと狭山青年会議所の方・佐々木理事長

## \*\*\* 重茂児童館より～卒園式・入園式 \*\*\*



★震災を受けながらも立派に卒園証書をもらいました

3月25日(金)重茂児童館では卒園式を迎えました。

児童館で避難生活をしている子ども達もいるなかでの卒園式となりましたが、お父さん・お母さん、先生方に見守られながら無事に行われました。

また4月8日(金)には、平成23年度(第45回)入園式が行われました。

4月7日午後11時32分ごろ発生した宮城県沖を震源とする地震で、岩手県全域で停電となりました。

入園式は2階ホールでの挙行を予定していましたが、停電中でもあり、子どもたちの安全を配慮し、急きょ1階遊戯室で行われました。

停電中でも、入所児童紹介では、自分の名前が呼ばれると、「はい！」と元気な声でお返事をしてくれました。

子どもたちの緊張しながらも時おり見せる笑顔や元気な声に、職員一同も元気をもらいました。

子どもたちの笑顔・希望を絶やさないう、重茂児童館は、お父さん・お母さん、職員一同が協力して頑張ります!(岩見)



★職員からの歓迎の劇「3匹のやぎのがらがらとん」をみて楽しんでいる児童たち

## \*\*\*\*\*

### 【今後の支援活動について】

全国のみなさまから、心温かい支援物資を毎日のようにいただき、ありがとうございます。会員さんや利用者さんのご家族も力を合わせて、物資輸送や物資の仕分けにご協力いただいています。

現在は、仮設住宅の建設が急ピッチですすめられ、入居も始まっています。避難所から仮設住宅・県営や市営住宅などへの生活へ移ることになります。生活をしていくうえでいろいろな不安を抱えての引越しとなります。

プライベートな空間は保たれるものの、話し相手もいなかったり、考える時間が増えたり…。心が不安定になりかねません。そのような方々が集える居場所づくりをしたいと考えています。

さらに、新たな生活の第一歩を踏み出すみなさんへ「生活するための支援」物資を募集したいと思っています。

本当に必要なものを【ふれあいステーション・あい】で取りまとめ、発信していきます。

被災地で暮らす人々への途切れない支援を、全国のみなさまと一緒に考えて参りたいと思っておりますので、今後もどうかご協力くださいますようお願いいたします。

## 《支援物資について》

生活をするための支援として、必要なものを伺いながら継続して募集します。

- ・日用品（トイレトペーパー・洗剤類など）
- ・調味料（砂糖・醤油・塩・酢・油など）
- ・夏物衣料品など（希望のもの、サイズを伺いながら）

## 《支援活動について》

街の復興・被災者の自立をめざして、さまざまな団体と広く連携しながら行っていきます。

- ・仮設住宅のみならず、半壊した自宅やアパートへ移る方々への必要に応じた支援
- ・宮古市・山田町などの方々を対象した就労のための職業訓練
- ・復興や自立をめざすコミュニティビジネスの起業など

# こんにちは あいちゃんです ほっ \*\*\*\*

【あいちゃんの と一息 イイ話しコーナーです】

3. 11から8日目の夜、大阪の友人から「こっちのテレビニュースで『山田町で瓦礫の中に青空市場。新鮮な野菜がありがたいと笑顔で買い物。』と流れていた。胡瓜だけだったのが切ない・・・」とのメール。電気の復旧が遅れていたため、テレビも見れない状況が続く中、私には、希望を持たせてくれた情報となった。

青空市場を開いたのは、町の真ん中であつた地元スーパーで、私もよく買い物をしていた。たとえ胡瓜だけでも良い・・・生産物が並んで、お金を出して買うということは、あの状況下では、気持ちが明るくなるできごとだった。

4月の下旬、山田町に出かけた。このスーパーでは、駐車場跡地の瓦礫を片付けテントを張り、お店を開いていた。山田産のレタス、大根、キャベツを選んで買った。あまり買い物好きではない私が、『買い物できる』ことで心が弾んだ。お店の人達と言葉を交わしながら「お互いに頑張りましょう！」と励ましあつた。くやしき、辛さ、嬉しさ、不安・・・いろいろな思いと涙で味付けされて、チョッとシヨツパカッタけど、美味しかった。野菜でお腹がいっぱいになるほど食べた。

津波で流されて何も無くなった土地に、少しずつ、お店が並び始めた。普通にお買い物できることが嬉しい！ホンの少しずつだけれど、明日に向かって、動き始めていると感じている。(R. S)



グリーンピア三陸・みやこ（宮古市）の駐車場にオープンした共同店舗「たろちゃんテント」